

アーツラボ東京 2019年度相談実績

	障害種別	当事者or 支援者	区分	概要	回答
1	知的障害・精神（うつ）自閉症	当事者支援者	ワークショップ	新しく開設した施設からの相談。障害の種別を問わず受入れ開始。 井崎哲也顧問のワークショップを希望したい。	井崎氏が指揮者の役を担い、様々な障がい者が団員となって、楽器を手にする様を全体としてオーケストラ風に表現したワークショップです。参加者全員で一つの輪を作り、となりの人から伝わってきた動作を正確に隣の人へと伝えることで「聞く言葉」から「感じることば」を体験しました。 内容：動きの連鎖、数ゲーム、サインタイム特別ショー「ゴルフ」を披露。
2	-	支援者	相談	視覚障害のある方にも観賞支援を考えております。ただ、このような企画は初めてで、どのように招待したらよいか、気をつけるべきことはあるか、フラメンコの踊りもあるため、観賞していただく際の工夫はどうしたらよいかなど判らないことがいっぱいあります。 そのようなことをサポートいただける方や団体がありましたらぜひご教授いただきたい。	来年1月10日の公演に向けて、開場前に出演者や舞台セット説明を行なうという方針を持っておられたので、それに沿って、動きの説明の仕方などを簡単にアドバイスしました。 また、できれば最寄駅からの送迎誘導や、ガイドヘルパー割引があると良いこと、更にライブによる音声ガイドが入ると、さらに楽しめること、宣伝媒体に関する、CDによるパンフレット提供のこと、今後宣伝活動やアドバイスなど、できるかぎりご協力いたします。 聴覚障害のかたにもきていただけるよう、受け付けその他の筆談対応や、前説・MC・歌詞などの字幕表示することはいかがでしょうか。
3	-	支援者	相談	バリアフリー公演の広報方法について教えてほしい。	1) 広報方法 解説時手話通訳&字幕配信、点字パンフレット、視覚障害者向け副音声&舞台の触図、介助者1名無料など様々なサポートをご用意しております。（上演中の途中入退場も可能です） また、受付における手話通訳や言語通訳、筆談のご用意はありますでしょうか。 2) チラシ（PDF）は読み上げ機能に対応されていますでしょうか。 3) チケット申し込みはネットおよび電話、窓口販売のみである場合、ネットでの申し込みができない方もいらっしゃいますので、FAXやメール対応を追加することは難しいでしょうか。参考までに他劇場での対応ページをお送りいたします。 新国立劇場 https://www.nntt.jac.go.jp/play/news/detail/13_014915.html 4) 「介助者チケット」の問い合わせは電話のみです。介助者は聞こえる方ばかりではありません。FAXやメール対応は難しいでしょうか。 5) 字幕配信や副音声はどのように対応されるのでしょうか。オープンではなく、ポータブル字幕やイヤホンガイドといったクローズド（個人使用）の場合、貸出が必要になるかと思えます。その説明や手続きのための時間は設けていますでしょうか？ PRについてですが、 1) 「アクセシビリティ公演情報サイト」への掲載ご依頼をいただけますでしょうか。 http://ta-net.org/event/entry/ http://ta-net.org/event/
4	-	支援者	ワークショップ	ボランティアに参加したい。実行委員会方式により募集があれば、応募したいと思います。	10月に立ち上げるトットARTSフェス2020の実行委員会に参加して下さい。それまでは、アダム・ベンジャミンさんワークショップなど個別の取組みに加わり、デザイナー・アドヴァイザーとして助言をお願いします。
5	-	支援者	イベント	小学生を対象に手話うたを教えています。特別支援学校の生徒も入れてトットARTSフェスで発表したい。	実行委員会に参加し、地域の町会と共に世代間、地域間交流を推進して下さい。 実行委員会に参画、提案をトットARTSフェス2020で実現します。
6	-	支援者	相談	バリアフリー公演の実績が少なく、手探りで広報している状況です。 WEBや雑誌等、情報拡散の手法についてご教示頂きたい。	TA-netに掲載されている公演の折込依頼や日本ろう者劇団の手話狂言公演の際、他の公演チラシの折込を許可しています。他の障害者の太鼓団体の公演案内なども情報提供しています。